

消防団員不足への対応は

答 再編や担い手確保への研究を進めます

消防団の持続的な運営に向けて

問 消防団組織の再編の必要性は。

町長 消防活動に必要な団員数を確保できない班や、成田空港の更なる機能強化に伴う移転・人口減少により団員確保が困難になる班が生じているため、地域関係者間の意見調整を図りながら、新たな組織体制や資機材配備の検討を進めていきたいと考えます。

問 機能強化の影響を受ける一鍬田班、牛尾班の消防団は。

総務課長 一鍬田班は、現在団員が班長1名のみで活動ができないため、区が解散するまでは消防団本部役員が活動を補助します。また、牛尾班は消防団本部が昨年夏から班長などへ合併に関する意向聴取を行っています。現時点で地元からの具体的な進展や報告はありません。

問 機能別消防団員制度の導入は。

町長 まずは現消防団の維持、強化を図っていくことを第一と



地域防災の要となる消防団

した上で、常備消防や消防団本部と連携し、機能別消防団員制度や民間企業との災害協定などの消防団組織以外の担い手の確保について研究を進めるなど、今後も消防力や地域防災力の維持、強化に努めていきます。

問 班編成による分団長の選出、団員に負担がかかるのでは。

町長 分団長の負担を軽減し、その役割を皆で分担して担えるような「仕組みづくり」が大変重要であると考え、常備消防や消防団本部と緊密に連携を取りながら、今後の具体的な在り方について研究・検討を進めていく方針です。

橋本 孝之 議員

所要時間 60分



ごみ袋の負担軽減は

問 ごみ袋がなくなるのでは。

生活環境課長 町の今年度のごみ袋は例年並みの供給量を確保しており、町民へ安定して供給できる状況です。

問 なぜこのような価格設定なのか。

町長 ごみ処理に要する経費負担の公平性を確保する観点から、受益者負担分として指定ごみ袋による有料化を導入しています。

問 ごみ袋大20枚で1000円は高いのでは。

生活環境課長 令和2年度までは匝瑳市ほか2町環境衛生組合が製造し、一律料金を設定していました。令和3年度にごみ処理が香取広域に移行する際、住民要望により45リットル袋を追加し、現在は大・中・小の3種類を販



ごみ出し支援の充実を

売しています。1リットル当たりの単価はごみ袋小・中よりも抑えた金額設定となっています。

問 福祉的観点からごみ袋の減免制度をできないか。

町長 本町ではごみ袋の減免制度はありません。今後はどのような福祉的支援が考えられるのか、多角的な視点から研究を進めていきます。

保健福祉課長 訪問介護の利用者などから「朝8時までのごみ出しが難しい」という要望もあります。現在は、助け合いなどで対応できていますが、高齢化や核家族化の進展などにより、限界が生じてきます。支援が必要な対象者を把握し、戸別収集の導入も含め、どのような支援が効果的なのかを研究・検討していきます。

新規就農者を増やすためには

答 継続的な支援体制を行っています

新規就農支援策は

問 多古町の新規就農者の現状、町として新規就農者をどのように増やしていきたいかとお考えですか。

町長 国の経営開始資金を受けて、過去5年間で9件、うち夫婦型が4件で、13人の方が独立就農しました。また、町の総合戦略では、新規就農者数を指標の一つとして掲げており、5年間で15人の増加を目指しています。

問 町として新規就農者に対する独自の支援体制や、その活用状況を伺います。



農業の未来を見据えて

町長 町では新規就農者に対して、収入保険加入時の補助、県の支援事業への上乗せでの補助、また、千葉日報でも取り上げられた新規就農者と農業者をマッチングするサイトの開設、県内初の(株)ポタと連携協定を結んだ農機シェアリングサービスなど、さまざまな施策を実施しています。

問 地域おこし協力隊の方の中에서도、農業をやりたい方がいるようですが、どのような活動をされていますか。

町長 現在4人の隊員が町内で活動しています。最終的な目標は、任期終了後も本町に定住し、農業をなりわいとして確立していただくことです。町としても、新規就農者支援に関する各種施策を継続するとともに、新規就農者に寄り添い、その希望がかなうよう努めていきます。

空き家の利活用を

問 空き家バンクの現状、助成の活用状況などは、どのようになっていますか。

行橋 千春 議員

所要時間 60分



町長 空き家バンク制度の創設以来、登録件数は22件で成約件数は14件。うち売却が11件、賃貸が3件です。また、所有者の都合により登録取り消しが6件ありましたので、成約率は87・5%と高い割合となっています。空き家の残置物の処理に対しては、2件の補助金の交付実績があります。今後も、空き家バンク制度やその推進のための補助金制度の周知を図っていきます。

問 空き家について相談する窓口はどのようになっていますか。

企画政策課長 空き家バンクで利活用する空き家については、企画政策課地方創生係で行っています。また、適正に管理されていない空き家に関しましては、空港まちづくり課都市計画係が窓口になっています。

問 空港まちづくり課ではどのような対応をしていますか。



空き家のご相談は企画政策課に

空港まちづくり課長 今後も空き家を適切に管理いただくようお知らせするとともに、地域おこし協力隊の方と協力して、空き家の情報収集、売却や利活用の提案などを行っています。

問 さまざまな補助金の制度について、町民の方々への周知は、どのようにお考えですか。

町長 広報などで十分周知していますが、今後とも工夫していききたいと思っています。また、民間事業者と連携した官民連携による仕組みづくりも、研究していききたいと思っています。